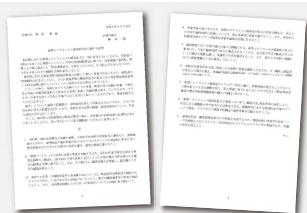


活動報告

令和元年10月～令和2年6月

末吉の活動は地元の方々や
関係各位のご尽力により
支えられております



新型コロナ対策の要望を議会で提出



大学生のインターンを受け入れ



若手市議の会で条例改正の研修（常総市）



会派で市立美術館の収蔵庫等を視察



足利の伝統行事「鎧年越」に参加

染田地区に放課後児童クラブ開設

2020年4月1日、染田地区に新しい放課後児童クラブが開設されました。足利市では概ね小学3年生までが入れるクラブを確保しています。しかし、染田地区は小学生が微増傾向にあるため、既存のクラブだけでは足りず、小学2年生ですら利用できない状況になっていました。そこで保護者の皆様と協力し、クラブのニーズや空きテナントの調査、行政との交渉を行いました。その結果、準備からわずか1年で新たなクラブを開設することができました。これも、ご尽力いただいた保護者やクラブ、担当課、地域、学校ほか、関係していただいた全ての皆様のおかげです。「足利の未来はみんなで変える」を具現化する好事例となりました。



▲詳細

田崎草雲学ぶ小学生向け補助教材完成

郷土の偉人である「田崎草雲」を学ぶための小学生向け補助教材が、2020年4月に完成し、市内小学4年生全員に配布されました。草雲は足利藩の文人画家で、幕末には誠心隊を組織し戦火から足利を守り、明治には足利学校の国宝書物や鑿阿寺のお堂を守る活動をしました。今の歴史観光都市足利を守った恩人とも言えます。しかし、そんな草雲の功績を知らない方も多く、「このままでは足利の歴史を知らない、足利に誇りを持てない市民が増えてしまう」という危機感から提言をさせていただいたのが「補助教材」です。制作にご協力いただいた「足利デザイン・ビューティ専門学校」の学生さんや、教育現場への導入にご理解をいただいた教育委員会や各学校の皆様にも感謝しております。



▲詳細

令和元年9月議会 一般質問（令和元年9月10日）

市長の政治姿勢について ～中橋の架け替え～

【末吉】中橋の架け替えについては、数十年来、本市防災の大切な課題となっていたが、平成28年以降、国・県・市の足並みがそろい、大きく動き始めた。架け替えにあたっては、現在のアーチ形状の継承や部材の利活用などの視点を持つことが重要と考えるが、市として県にどのように提言していくのか。



【都市建設部長】中橋は多くの市民に親しまれ、そのシンボルである緑の三連アーチは本市を代表する景観であると考えている。地元説明会でも、アーチ形状の継続を望む声が数多く聞こえてきた。これらを説明し3連アーチの継承を、**国や県に対して強く要望していく**。

◀末吉の主張▶

本市のシンボルであり、歴史遺産（全国に数例しかない戦前のブレースドリブタイトアーチ式橋梁）でもある中橋を活かしながら、防災を強化できれば歴史まちづくりの大きな一歩となる。



► 現中橋を並列して架け替える手法に決定
(2020年8月1日発表)



▲詳細

令和元年12月議会 一般質問（令和元年12月9日）

防災行政について ～危機管理体制・消防組織～

【末吉】令和元年東日本台風を踏まえ、本市危機管理体制について考えたい。災害時の体制整備のため、①危機管理課への副部長級職員の配置、②退職自衛官の採用、③同課OB職員の臨時配置に加え、④新たに防災体制見直し担当の設置を提言するが、市長の考えを聞きたい。

【市長】防災体制強化のためには枠組み充実だけでなく、自分で判断でき、私のところまで情報を報告できる意識の向上が必要。枠組み充実と同時に人材育成にも取り組む。

【末吉】令和2年度から本格運用の水難救助隊は大変心強

いものとなる。これを機に船外機の追加配備や装備の更新を検討してはどうか。また消防団にも最低限の装備として、**ゴムボートなどの配備も有効**と考える。

【消防長】今回の災害でも船外機は急流では使用できなかつたため、追加整備は考えていない。消防団へのゴムボートの配備は課題も多いが必要性は高まっているので、今後検証した中で検討をしていきたい。

◀末吉の主張▶

今回の台風で浮き彫りになった課題は山ほどあり、それを解決するには人員と予算と時間が必要。災害は待ってくれないので、現実的にできるところから確実に改善していくことが重要。



▲詳細

令和2年3月議会 一般質問（令和2年3月11日）

文化財の保護と活用について ～史跡足利学校等の防災・防火対策～

【末吉】市立美術館の地下収蔵庫は浸水の危険性が高く、中橋の架け替えまでには時間がかかる。足利市郷土資料展示室、月谷民俗資料室は老朽化等により防火の面で、ふる

さと学習・資料館は土砂災害の面で限界がある。文化庁も文化財の防災対策予算を、前年度比約4倍の80億5,800万円で予算計上している。公共

施設再編計画が策定される今こそ、足利市の文化財保存展示施設の在り方を本格的に議論すべきではないか。

【教育次長】現在定めている足利市公共施設再編計画の中では安全な地域へ集約化を考えている。併せて、防災についても検討したい。

◀末吉の主張▶

貴重な歴史資源を安全とは言えない状況下に数十年置いたままにしてきたのが、歴史と文化のまち足利の実態。本格的な議論が必要。



▲詳細

◆ 他に「足利高校・足利女子高校の統合新高校」「足利市民会館の建てかえ」「自動運転化社会への対応」「全国足利ゆかりの会」「河川に関するハード対策」等についても質問をしました。

► 詳しくはホームページの議事録をご覧ください



第14回市政報告会＆秋のつどい



委員会で小中一貫的教育の視察（富士市）